

北海道版 ESD 環境プログラムの実施

石狩市立双葉小学校・厚田小学校

<取組の概要・特色>

持続可能な社会づくりに向けて、子どもたち自身が課題を見だし解決を考えていく ESD の視点に立った環境プログラムを石狩市、石狩市教育委員会、環境省及び市内 2 校の協働事業として実施しました。実施したプログラムは「北海道版 ESD 環境教育プログラム」として、道内他地域での展開も可能な内容でまとめています。

※ ESD (Education for Sustainable Development : 持続可能な開発のための教育)
 環境や人権、開発など、様々な地球規模の課題を自らの問題として捉え、一人一人が自分にできることを考え、実践していくことを身に付けるなど、持続可能な社会づくりの担い手となる資質・能力を育む教育

■平成 27 年度の実践例

○石狩市立双葉小学校

全国的にも貴重な自然海浜である石狩浜をフィールドに、身近な自然と自分との関わりを多様な側面から見つめて、体験や調査活動に臨む姿勢や意識、また地域の一員としての自己のあり方について考える力を養うことを目標に、学習活動を展開しました。



(石狩浜での体験活動)

学習課題	活動・学習内容
石狩浜とのつながりを知る	石狩浜から連想するものをたくさん書き出して、多様なつながりを発見する。
石狩浜にふれる	石狩浜を訪れ、現地の状況を体験し、自分とのつながりや関わりを見つめる
石狩浜を調べる準備をする	必要な観察の方法やインタビューの仕方、質問の作り方を身につける
石狩浜を調べる	立てた仮説を確かめるために、観察、インタビュー、文献調査などを行う
石狩浜から見えてきたことをまとめる	仮説が立証できたかどうかを含め調査の結果を整理する
地域の一員としての自分をみつける	見えてきたつながりや関わりの中に自分がいることを確認、何ができるか考える

○石狩市立厚田小学校

再生可能エネルギーである市内の風力発電を素材として、自然や社会環境、社会の出来事などを広い視野で見つめて関係性を見だし、自らの考えなどを根拠を持って説明し、世界や未来を自己とのつながりをとおして捉える能力・態度を養うことを目標に、学習活動を展開しました。

学習課題	活動・学習内容
自分の意見の理由を確かめる	人気キャラクターを題材に選んだ理由を聞き合い自己の意見を明確にする
私のまち・私の家を探る	家庭の電気消費量などを通して、風力発電所が立地している理由を探る
私のまちと家をつなぐものにふれる	風力発電所の見学や発電自転車の体験をする。
「こうしたい！私たちの暮らし方」をみつける	よりよい未来づくりに向けての現実的なアイデアを検討する。
これまでの学習活動をふりかえる	「エコライフ宣言」が現実的で、自分事になっているか確認する

<推奨理由>

石狩市、石狩市教育委員会、環境省及び実施 2 校が協働して、ESD の視点で環境教育プログラムを作成し実施しています。学校教育と環境教育の視点を合わせた専門的な ESD の取組例は少なく、他への波及が期待されます。

※上記 2 事例を含む「北海道版 ESD 環境教育プログラム集」は、次のサイトからダウンロードできます

http://epohok.jp/katsudou/index.php?content_id=22